

令和6年度（令和5年度対象）

沼田町教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書

沼田町教育委員会

点検・評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされております。

当委員会では、この点検及び評価を行うに当たり過日、教育に関し学識経験を有する方々の知見を戴き、法の趣旨である効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会活動の点検・評価を実施し報告書にまとめました。

2 評価等の対象

今回実施した評価等の対象は、沼田町総合教育計画に基づき、令和5年度に実施した教育行政に関する施策のうち主な事業としました。

3 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、施策事業の実施内容と実績を明らかにするとともに、今後の課題と対応方向を示します。

4 評価基準

計画に対し、取り組みの進捗状況などを踏まえ、A～Dの4段階評価を行っています。

(評価判断基準)

- A・・・計画どおり又は計画以上の成果が得られた
- B・・・概ね目標は達成できた
- C・・・課題を残し目標も十分達成できなかった
- D・・・検討段階で具体的な成果はなかった

令和5年度 教育委員会の活動状況に関する点検・評価 対象事業一覧

第2期 沼田町総合教育計画

基本理念 『沼田町ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現』

基本 目標 Ⅰ 未 来 を 築 く 人 づ く り	個別目標1 『知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成』	
	展開方策1	生きる力を支える「確かな学力」の習得
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 2. 教育総合アドバイザーの配置 3. 小学校補助教諭の配置 4. 小中学校学力向上対策事業 5. 公設塾「みらい」 6. 学習サポート事業 7. 小矢部市青少年交流事業 19. ポートハーティ国際交流推進事業
	展開方策2	子どもたちの「豊かな心」の育成
	関係事業	7. 小矢部市青少年交流事業 8. スクールカウンセラーの配置 9. 仲間づくり「子ども会議」 19. ポートハーティ国際交流推進事業 21. 子ども文化劇場 22. 中学生ボランティア育成事業 32. 自然体験授業事業
	展開方策3	子どもたちの「健やかな体」の育成
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 10. 小学校体力向上対策事業 42. 町民体育祭 43. おはようラジオ体操 44. 明日萌・ほたるの里ウォーキング 50. B&G海洋センター管理運営 51. 水泳教室 52. スキー場管理運営
	展開方策4	地域に貢献する人づくりの促進
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 16. 農業体験事業 18. キャリア教育の推進
	展開方策5	個人のニーズに対応した教育の充実
関係事業	12. 小中特別支援学級支援事業	
展開方策6	幼児教育の充実	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業	
個別目標2 『地域社会が一体となり、共に育む教育の実践』		
展開方策7	学校・家庭・地域で子どもたちを育む取り組みの支援	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 7. 小矢部市青少年交流事業 18. キャリア教育の推進	
展開方策8	家庭における教育の支援	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 23. 家庭教育支援事業	

個別目標3 『安全・安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備』

展開方策9 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進

関係事業 8. スクールカウンセラーの配置 11. メール斉送信システムの運用 13. 通学路点検・防犯教室の開催 40. 沼田っ子サポーター事業

展開方策10 社会の変化に対応した学校づくりの推進

関係事業 1. 一貫・連携教育推進事業 14. 小中校務支援システムの導入 17. 教員住宅管理事業

展開方策11 高度情報化社会に対応した教育・学習活動の推進

関係事業 1. 一貫・連携教育推進事業 23. 家庭教育支援事業

展開方策12 質の高い教育環境の整備

関係事業 15. 外国語指導助手委託事業

個別目標4 『沼田らしい学ぶ喜びに溢れる生涯学習社会の実現』

展開方策13 生涯を通して学習し、その成果を生かせる環境づくりの推進

関係事業 24. 町民交流フェスタ 25. 生きがい講座 26. 20歳を祝う会 27. サークル活性化支援事業 28. いきいき大学
29. 外国文化にふれる会 34. 芸術文化鑑賞事業 41. 社会教育施設の管理運営 48. 図書館運営 49. 図書館フェスティバル
56. 宿泊交流センター管理運営 59. 町民会館の管理運営

展開方策14 青少年が健やかに育つ地域づくりの推進

関係事業 30. シニアリーダー研修会 31. 自然体験キャンプ 32. 自然体験授業事業 33. 沼田っ子の夢応援事業 40. むまたっ子サポーター事業

展開方策15 高齢者の生きがいづくりの推進

関係事業 28. いきいき大学 39. 文化連盟活動助成

展開方策16 生涯にわたり、スポーツに親しむことの出来る環境づくりの推進

関係事業 42. 町民体育祭 43. おはようラジオ体操 44. 明日萌・ほたるの里ウォーキング 45. 町民パークゴルフ場運営 46. 各種パークゴルフ大会
47. 体育協会活動助成 50. B&G海洋センター管理運営 51. 水泳教室 52. スキー場管理運営 57. 町民球場運営
58. 社会体育施設の管理運営

展開方策17 芸術文化や地域の歴史に親しむ機会の充実

関係事業 7. 小矢部市青少年交流事業 25. 生きがい講座 34. 芸術文化鑑賞事業 35. 文化財の保存管理 36. クラウス整備点検
37. 本願寺駅通維持管理 38. 町民芸術祭 39. 文化連盟活動助成 53. 化石研究事業の推進 54. 化石体験館管理運営
55. レプリカ工房 59. 町民会館の管理運営

展開方策18 広い視野を持ち、地域を愛する心の育成

関係事業 7. 小矢部市青少年交流事業 19. ポートヘティ国際交流事業 20. シン再会の塔

基本
目標Ⅱ

共に学び合う明るい地域づくり

事業別 教育行政評価書

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	1	一貫・連携教育推進事業	担当係	学務	
事業内容	沼田町一貫・連携教育の目標「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」を育むため、平成30年開園した小・中一貫型小学校・中学校「沼田学園」は、6年目を迎えた。小・中一貫教育の核となる義務教育9年間を見通した目標の設定とその目標の実現のために、指導性の一貫性を確保する。そのことを柱に据え、課題を明らかにすること、目指す子ども像や具体的な目標、評価項目・指標を設定し、地域・家庭・学校が一体となって取り組む。その実現のため教育振興会が中心となって研究を深め、学校運営協議会（令和元年設立）が中核となって社会総掛かりでの教育を進める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
			0	0	
評価	A	新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行した。引き続き児童生徒の衛生面、健康面に留意し、教育活動に制約を受けながらもICTを活用するなど「子どもたちの学びを止めない」取り組みを進めた。教育振興会は、より活動の進化を図るため、編成、内容を見直し、「沼田学園協議会」に改編した。研修では、「自ら学んで考え、学び合う児童・生徒の育成」～ICTの効果的活用を通して～2年次研究の最終年度とした。授業スタイル「沼田スタイル」の実践と一人1台のiPadなどICT機器を教育活動に取り入れた主体的・対話的で深い学びの実践、定着を図った。また、「沼田学園運動会」や「夜高あんどん祭り」は、児童・生徒の交流や人との関わりの中で自己有用感を育むことに大きな成果をあげている。先進地に学ぶ沼田学園教育講演会は、「学力日本一の村」と称される秋田県東成瀬村から講師を招き、学校経営、教科経営に多くの示唆を頂いた。また、地学協働の観点から経営方針に反映された「沼田っ子アクションプラン」は、未来を担う子どもたちの豊かな成長を目指し教育活動に生かされている。			
今後の課題・見直しの予定	全国学力学習状況調査、NRT、QU、NINO等の結果、分析をもとに、児童生徒理解、支援、授業改善を学園全体で共有して学校力向上に向けた取り組みを図る。				
事業名	2	教育総合アドバイザーの配置	担当係	学務	
事業内容	多様化・高度化する学校教育・社会教育の質的向上を目指して、識見と豊富な経験を持った「教育総合アドバイザー」を1名配置し、子どもたちの学力や地域教育力の向上、各種教育相談、沼田町学習サポート事業「明日萌」に取り組む。 不登校児童・生徒の対応についても学校と保護者の意見を聞き、「ゆきの芽」で対応を行う。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
			3,946	3,994	
評価	A	教育者としての豊富な経験を活かしながら、一貫連携教育の推進や学力向上、生活習慣の改善対策に大きな力を発揮してくれている。不登校児童・生徒の対応についても、学校と保護者の意見を聞きながら「ゆきの芽」での対応を実施し、保護者、学校からの信頼も厚い。			
今後の課題・見直しの予定	教育分野の識見と豊富な経験を持つ人材は貴重であり、教育に関わる各種事業を円滑に進める上で有効であることから、継続することが必要である。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	3	小学校学力向上補助教諭の配置	担当係	学務	
事業内容	子どもたちが主体的に学ぶ意欲を高め、基礎・基本の学力の確実な定着と応用力の育成へと繋げていくことが必要であり、特に低学年においては以降の学年での学習への影響が大きいことから、当該学年への学習支援（授業サポート・放課後学習指導など）を進める。			事業費(決算額)	
				令和4年度	令和5年度
				0	0
評価	B	人材確保が難しいことから、採用要件について小学校の免許に加え中学校の免許でも可として、ハローワーク、広報で周知募集を行った。9月に1名特別教育支援員を採用したが、産休等の事情により現場の職員数の安定的な増には至らなかった。			
今後の課題・見直しの予定	学習規律並びに基礎・基本の定着のために引き続き細かな配慮が必要であることから継続配置の予算措置をしていくが、教職員不足の背景から引き続き中学校免許保有者等範囲を広げて募集を行う。				
事業名	4	小・中学校学力向上対策事業	担当係	学務	
事業内容	急激に変化する時代の中で、子どもたちがふるさとに愛着と誇りをもち、将来に向かって夢や希望を描くためには、知・徳・体のバランスのとれた健やかな育成が必要である。沼田町の子どもたちは、沼田学園の一貫・連携教育を通して「確かな学力の向上」が求められている。 対策としては、全国学力・学習状況調査結果から、基礎基本的な漢字の読み書き、計算の習得及びこれから国際社会を生き抜くため英語力が必須であることから、漢字検定・算数・数学検定、英語検定を活用して沼田っ子の学力向上、目標に向けて継続的に学びに取り組む姿勢や、学習へのモチベーション向上を図る。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				457	440
評価	A	漢字検定は、小学生91名(受検率94%)、中学生30名(受検率56%)、英語検定は、中学生21名(受検率39%)、算数・数学検定は、小学生51名(受検率52%)、中学生11名(受検率20%)が受検した。合格という目標が学力向上への意欲付けとなった。受験会場が町外、実施日が休日など学校と協力・連携して交通手段の確保等、児童生徒が受検しやすい環境づくりを継続することが必要である。			
今後の課題・見直しの予定	漢検、英検、算数・数学検定ともに、検定料を助成すること、町外受検への送迎対応により、受験しやすい環境を整備できている。今後は、学力向上対策として位置付けている各検定の受検率を上げていくことが望まれる。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	5 公設塾「みらい」	担当係	社会教育		
事業内容	<p>学齢人口の減少に伴い、民間による学校以外の学習環境の整備が困難になっている状況において、公設公営かつ沼田学園との連携による学習機会を確保し、基礎学力の定着を促す。 小学5年生～中学3年生を対象とし、通常授業+夏・冬長期休業期間の講座を行う。対象児童・生徒の約半数が利用し、その成績は学年平均を超える成果をあげている。</p>			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
			-	154	
評価	A	事前に保護者アンケート、開催にあたって事前説明会を実施するなど、保護者や児童生徒の意向を踏まえて計画実施した。			
今後の課題・見直しの予定	町内から塾がなくなり、地理的・経済的格差を解消するために塾開設の希望があったが、一方で高校が定員割れしている状況から学習に対する動機付けが困難になっており、更に学校との連携を強め、学習意欲の向上に努める。				
事業名	6 沼田町学習サポート事業「明日萌」	担当係	学務		
事業内容	<p>児童・生徒の一層の学力向上を目指し、長期休業中及び平日（主に月曜日、放課後）に実施する。指導者は、基本的に教育総合アドバイザーが担う。長期休業中の学生サポーターの活用、小学校での、図書館司書と連携した読み聞かせ、ALTの協力を得た「英語で遊ぼう」を学期に1回程度実施する。 小学校では、学校からの課題や漢検対策プリント、算数プリント（北海道チャレンジテスト等）を活用する。</p>			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
			221	127	
評価	A	平日29回、長期休業14回を実施した。小学生は、平日674名、長期休業372名となり、平日は中止が8回あった影響もあり前年比減となったが、長期休業については大幅増となった。中学生の対応は、公設塾へ移行。基礎的な事項の習熟をねらいとしたプリントや各種検定、チャレンジテストの活用を通して一定の効果が見られた。意欲的に学習に取り組む児童・生徒が多く、躓いている児童・生徒への支援も有効である。また、学生サポーターの配置により児童の意欲、感心の向上に大いに寄与し、有効であった。			
今後の課題・見直しの予定	学習内容の定着、個々のニーズに対応した指導を進める。AIドリルの活用など、特に基礎基本の習得、反復学習を重視する。また、各種検定への対策を継続、児童の学習意欲の向上を目指す取り組みを工夫する。今後も実施日を学校と調整し、年間行事予定に位置付ける。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	7 小矢部市沼田町青少年交流事業		担当係	学務	
事業内容	姉妹都市提携を結ぶ沼田町と富山県小矢部市の中学生同士が交流し両市町の絆を深め、まちづくり、人づくりにつなげる。また、交流事業を通して未来を担う子どもたちが、お互いの歴史や文化に触れることにより今後の両市町の振興発展に繋げることを目的として実施する。 令和5年度は、小矢部市蟹谷中学校に沼田中学校生徒9名を派遣し、蟹谷中学校生徒の家庭にホームステイし交流した。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				1,178	114
評価	A	本年は小矢部市へ派遣の年であり、沼田中学校2年生の女子7名、男子2名で小矢部市を訪問した。現地では小矢部市ロータリークラブが中心となり、様々な交流事業を企画していただいた。期間中、沼田中と小矢部市蟹谷中の生徒同士が親睦を深め、両市町の交流の絆を築く事ができた。 沼田喜三郎翁の墓参り、小矢部市役所・蟹谷中学校訪問、倶利伽羅古戦場・クロスランドおやべ・火牛まつり参加等に加え、ホームステイ泊を通し交流を実施した。両市町の絆を次世代に継承するため、今後も末永く継続すべき事業であると考えている。			
今後の課題・見直しの予定	令和6年度は受入の年であり、夜高あんどん祭りに合わせて、蟹谷中9名、引率3名、小矢部市ロータリークラブ12名の受け入れを行い、前年度から続いてきた生徒同士の友情を更に深めることとなった。 あんどん祭りという町中が多忙な時期で、家庭での受入が難しいという声が強くなり、ロータリークラブと相談を行ったが、あんどん祭りへの参加への希望が強いため、引き続きあんどん祭りの時期で受入の調整をする。一方で、同時期の各家庭の負担についても承知いただいたところであり、ホームステイの実施については再考の余地が生まれた。今後も継続的に協議を行い、持続可能な体制の検討が必要であると考えている。				
事業名	8 スクールカウンセラーの配置		担当係	学務	
事業内容	児童・生徒のいじめや不登校、暴力行為など多様化する問題行動等に適切に対応していくために、「心の専門家」として児童・生徒や保護者へのカウンセリング活動、教員への助言や個別事例の対応等、教育相談の充実を図る。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				376	377
評価	A	子どもたちや保護者から様々な悩み事や教育相談があり、また、教師からの相談などにも対応するなどそのニーズは極めて高く、心のケアの充実に大きく寄与している。特に不登校に対する児童や保護者へのケア対策にも力を入れて実施しており、小学校へは町費で年間12回、中学校は道費により年間22回の配置を行った。			
今後の課題・見直しの予定	多様化する子どもたちや保護者の諸問題等ニーズの高まりに対応するため、継続的に配置することが必要である。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	9 仲間づくり「子ども会議」（児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業）		担当係	学務			
事業内容	沼田の子どもたちが、いじめのない明るい学校づくりに向けた取り組みについて交流し、自らいじめの問題について考えることを通して、よりよい人間関係を築く基礎となる社会性や実践力を培う。					事業費(決算額) (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						-	-
評価	A	各学校においていじめ（ネットトラブルを含む）の防止に向けて取り組んだ内容等について、各管内において成果交流を実施することにより、管内及び学校等における取り組みの成果や課題を検証するとともに、他校での実践等の発表を視聴しました。オンラインで中学校の生徒2名が参加しました。					
今後の課題・見直しの予定	今後も継続して、いじめのない明るい学校づくりのため児童会・生徒会を中心に「いじめ」について考えていきたい。						
事業名	10 小学校体力向上対策事業		担当係	学務			
事業内容	平成25年度より、小学生に対してはコーディネーショントレーニングをスポーツクラブに委託し、専門家が小学校に常駐して体育の授業に参画するなど指導を行うようにする。外部からの参画があることにより、担任1人で行う授業よりもより充実した学びの機会を児童に与えることができ、体力向上に資することができる。また、体力向上には反復が必要であることから、小学校においても専門家の指導を基に恒常的に児童の体力向上対策を実施する					事業費(決算額) (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						562	562
評価	A	子どもの体力向上についてはすぐに効果をだすことは難しいが、まずは幼少期よりコーディネーショントレーニングを行うことにより「運動ができる」土台づくりを行い、急速に体が成長する小学校期においてはより高度な神経系を刺激する動きを取り入れることにより、運動が「得意」で「好き」な子どもを育てることができる。					
今後の課題・見直しの予定	コーディネーショントレーニングは、専門的な知識や技術を有した指導により、全国体力テストの上位にランクすることはもちろん、低学年の時から肥満や、運動嫌い、体育の授業嫌いの解消のため実施する。令和6年度から年40回にコマ数を増やし、児童生徒の運動能力向上を図る。						

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	11	メール斉送信システムの運用	担当係	学務	
事業内容	全国的に学校への不審者侵入や子どもの連れ去りなど、子どもたちが巻き込まれる事件が発生している。学校では安全対策を講じているが、「子どもたちが安心して生活できる環境」の確保のために近隣市町における不審者情報を迅速に保護者へ伝えるため、本システムを運用し児童・生徒の安全確保に努める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				110	110
評価	A	このシステムは電話連絡網とは異なり、確実に同じ情報を短時間に登録者全員の携帯電話等に対し、一斉に配信することが出来るため、情報の行き違いがなく、子どもたちの安全を迅速に確保、或いは確認することができる有効な手段である。			
今後の課題・見直しの予定	小・中のすべての家庭で登録されている状況。今後も継続して登録できるよう新1年生の登録、卒業生の解除の徹底。旅行的行事の状況等について、メールで周知することにより、保護者が状況を把握することができる。				
事業名	12	小・中特別支援学級支援及び小学校学習支援員の配置	担当係	学務	
事業内容	特別支援教育を必要とする児童・生徒に加え、普通学級に在籍する支援を必要とする児童・生徒の自立等に向け、その一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活又は学習上の困難を改善・克服するために適切な教育と指導を通じて必要な支援を行うため支援員を配置する。また、通常の学級において、学習面で支援が必要な児童が急増していることから、学習支援員を配置し、勉強についていけない児童をサポートし、学習支援が必要な児童への支援を進める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				9,508	11,653
評価	A	人材確保が難しいことから、採用要件について小学校の免許に加え中学校の免許でも可として、ハローワーク、広報で周知募集を行ったが、応募がなかった。			
今後の課題・見直しの予定	今後とも、特別支援教育を必要とする児童・生徒の自立や生活、学習上の困難を改善・克服のため、必要に応じた支援員の配置が必要である。近年特別支援学級に在籍する児童・生徒が増加し、対応についても多様化するため更なる支援の増加も見込まれる中、人材の確保が課題であり、応募条件を「特別な支援が必要な子どもについて理解し、接することができる方」へ緩和する等、人員増に務める。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	13 通学路点検・防犯教室の開催	担当係	学務	
事業内容	毎年、道路管理者、警察、住民生活課、教育委員会等関係者で構成する「沼田町通学路安全推進会議」による通学路点検を実施しており、結果に基づき縁石の取り替えや歩道の拡幅・改修、標識及び横断歩道の整備等が進められている。また、関係機関の協力のもと学校で防犯教室等を開催しており、防犯に対する意識の高揚を図っている。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			32	0
評価	A	通学路点検に関しては関係機関と連携して実施した。ゆめっくる前から農協スタンド交差点までと、中学校前までをスクールゾーンに設定し、のぼり旗を設置し通行車両への注意喚起を呼びかけている。		
今後の課題・見直しの予定	今年度も各関係機関の協力を仰ぎ、町内を4グループに分けて通学路点検を行うこととした。今後も継続して実施し、安全な通学路の整備に務める。			
事業名	14 小・中校務支援システムの導入	担当係	学務	
事業内容	小・中教職員の校務に係る事務負担の軽減を図り、空いた時間を児童・生徒と直接触れ合う時間として確保し、一人一人にきめ細やかな対応をすることで、児童・生徒に対する教育効果の向上に繋げる。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			845	845
評価	B	小・中一貫・連携をスムーズに運営するためにも、小・中学校それぞれの教諭が児童・生徒・教師のスケジュール等の情報を共有できるシステムの構築を一部実施したが、セキュリティの観点から使用上不都合な点もあり、今後の対応を検討する必要がある。		
今後の課題・見直しの予定	28年度から操作性等の良い新システムを導入するとともに、システムを十分に活用できるよう研修機会を設けることで、子どもと向き合う時間が増えるよう支援を進めている。セキュリティ確保のためネットワークの分離を実施したことにより、使用できないメニューが出てきているため、改善が必要。事業者と現場の先生も含め使用方法等について検討を行う。今後、GIGAスクール第2期として推奨されるネットワーク構成へ改修していく段階で、改善点の洗い出しを行い、必要な環境整備に繋げていく。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	15 外国語指導助手委託事業	担当係	学務	
事業内容	外国語指導助手（ALT）を小・中学校へ派遣し、英語の授業等において担当教諭を補助し、子どもたちの学力の向上を図る。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			5,016	5,808
評価	A	言語や文化に対する体験的理解を深め、コミュニケーション能力の育成や英語の基本的な発音表現に慣れ親しませながら教育を進めることができ有効な事業である。 小・中学校においてのデイビット先生のTTの英語授業は、児童生徒・教師より十二分な評価を得ている。		
今後の課題・見直しの予定	小学校外国語教科等の学習指導要領の改正のほか、沼田学園が目指す「特色ある学び」の一角として掲げる英語教育の推進において、ますますALTは重要な役割を果たすこととなるため継続が必要である。また、引き続き沼田町専属のALTで、町内に居住してもらい地域に根付く指導者として活躍いただくほか、社会教育事業への協力も仰ぎ活動にも参加を頂いている。			
事業名	16 農業体験学習	担当係	学務	
事業内容	小学校5年生を対象に田植えから稲刈りまでの農業体験を行い、収穫したお米を使ったイベント炊飯を実施する。実施にあたっては、中山間地域推進協議会の事業として位置づけていただき、JA北いぶき及び、町農業推進課とも連携し実施する。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			-	-
評価	A	児童が町の基幹産業である農業を体験したことは、町の産業や食について学ぶ貴重な機会であり、ふるさと教育や食育としても有効な事業である。令和4年度は5年生の田植え体験、ダム見学や、稲刈り体験、脱穀・もみすり体験を実施することができた。		
今後の課題・見直しの予定	天候に左右される事業であるが、沼田町の基幹産業である農作業(田植え、稲刈り等)を体験し、自分の町で何が作られているのを知りたい機会であり、児童にとっても貴重な学習であるため、今後も継続させることが必要と考えます。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	17 教職員住宅管理事業	担当係	学務	
事業内容	町内居住を希望する教員のために住宅を確保し、また、適切な維持管理に努める。	事業費(決算額) (単位:千円)		
		令和4年度	令和5年度	
		14,473	20,618	
評価	A	現在、7棟11戸の住居全てに入居しており、近隣町から見ても住んでくれる教職員は多い方である。教職員の異動のタイミングを見ながら内装等についても修繕等を行い、沼田町に住んでもらえる環境作りを行っていく。教職員の引越しのタイミングが短く、内装や水回りを改修する期間が限られているが、入居している教職員の協力を頂きながら改修を行っていききたい。また、令和5年度は2件の水回りを中心とした内装の改修工事、1件の外壁や屋根等の改修工事を実施した。		
今後の課題・見直しの予定	比較的新しい住宅も築20年以上経過していることから、外壁張替えや屋根塗装が必要となっている。今後、どのように対応していくのか検討することに併せて、教職員の現状やニーズにあった「沼田町に住んでもらえる」住宅の建設についても計画していく必要がある。			
事業名	18 キャリア教育の推進	担当係	学務	
事業内容	町内の事業所の協力をいただき、中学2年生が職場体験を実施し、沼田町の企業の仕事を理解して将来の定住に結びつけるとともに、それぞれが将来を見据え、生きる力の醸成につなげる。	事業費(決算額) (単位:千円)		
		令和4年度	令和5年度	
		-	-	
評価	A	令和5年度は、ほたる館、Daマルシェ、ほたる薬局、小学校、消防、図書館、化石体験館の協力を得て、中学2年生13名の職場体験を実施することができ、各々が自身の希望した仕事についての理解を深めることに繋がった。		
今後の課題・見直しの予定	中学2年生の職場体験は、継続して実施する。今後は生徒の希望する業種を中心に、職場体験に協力していただける事業所を増やし、中学生にとっては色々な経験ができるように、町内の事業所にとっては次世代の担い手への企業理解の推進、将来的な町内への定着等のきっかけとなるよう実施していきたい。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	19	ポートハーディ国際交流推進事業	担当係	学務	
事業内容	本町と友好都市であるカナダ・ブリティッシュコロンビア州ポートハーディ地区との中学生同士（同年代）の交流を図る。交流にあたっては学校の授業や行事への参加やホームステイなどを通じて外国の生活文化に触れ、国際的な感覚を身に付ける。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				0	8,135
評価	A	令和5年度はコロナ禍により中止が続いていた派遣事業を、平成30年度以来5年ぶりに実施することができた。中止になっていた期間を中学生として過ごし、事業に参加することができなかったことを鑑み、対象を高校生まで広げ実施したところ、高校生7名（男子1名、女子6名）、中学生4名（男子2名、女子2名）の応募があり、計15名の訪問団となった。現地ではホームステイをしながら博物館やパレードを見学しつつ交流を重ね、両市町の友好を改めて再確認する機会となった。今後も末永く実施すべき事業と考える。			
今後の課題・見直しの予定	上記により、高校生に対象を広げたところ多くの参加者を得ることができた。近隣の各高校も、本事業による生徒派遣には好意的な反応を示しているほか、今後の事業の継続性を高めるためにも、今後も高校生を対象とすることを検討したい。また、ポートハーディ交流協会からは、一般町民までの対象の拡大、派遣・受入の実施サイクルの変更等、今後も両市町の交流を継続できる方策を検討していきたい旨の話を頂いており、実施体制について慎重に検討を重ねていきたい。				
事業名	20	シン・再会の塔	担当係	社会教育	
事業内容	町内で開催される中学校卒業後20年・30年・40年目の再会の塔（沼田中学校同窓会）に要する経費の一部について補助し、仲間との交流を深める後押しをする。助成を行うことによって、出身者の親睦を図ると共に、町外への情報発信を行う。 (10名以上の出席で5名以上の居住地が町外の場合) 10名以上の参加 50千円 20名以上の参加 100千円			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				50	50
評価	B	実施は1学年のみであったが、10年に一度の節目の年に本町に戻って来られる機会は重要であると考えます。			
今後の課題・見直しの予定	再会の塔は安心センターがある「あるくらす」地域のシンボリック存在でもある。申請が対象学年全てからではないことから、対象の拡大や条件の緩和なども検討したい。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	21 子ども文化劇場	担当係	社会教育			
事業内容	<p>本物の芸術文化に触れる機会の少ない子どもたちに対し、直接接する機会を提供することにより、情操豊かな人間性を養うことを目的に隔年により実施している。令和3年度コロナの感染拡大により急遽延期となったため令和4年度に開催した。学校の希望により小学校全学年を対象に「銀河鉄道の夜」の演劇を観覧。次回は令和6年度。</p>				事業費(決算額) (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
					300	-
評価	—	芸術文化鑑賞事業、学校教育振興授業事業とローテーションで回しており、効果的な演目を選定していく。				
今後の課題・見直しの予定	本事業は隔年実施としており、北海道巡回小劇場等の助成事業は終了したが、本物の芸術文化に接する機会は子どもたちだけではなく町民も同様に数少ないことから、継続実施したい。また、キャリア教育の一環として公演だけでなく、舞台裏の見学や公演団体との交流も検討したい。実施時期は早期に調整を行い、繁忙期と重ならない日程とする。					
事業名	22 中学生ボランティア育成事業	担当係	社会教育			
事業内容	<p>町内在住の中学生・高校生を地域リーダーとして活動いただき、将来の町づくりリーダーとしての資質向上を図り、自分達の生まれ育った町でボランティア活動を行うことにより郷土愛を育み、地域に社会貢献できるよう育成する。</p>				事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
					0	0
評価	C	令和3年度までは学校と連携し、特に生徒会を中心にゆめっくる前の花の植栽を自治振興協議会の協力により実施していた。少年期に体験した知識を生かした活動も取り入れ、効果の高い事業でもあるため、水泳教室、自然体験事業、沼田っ子の夢応援事業など各種社会教育事業の児童参加者との関係性を深め、中学生につなげていく。				
今後の課題・見直しの予定	高校生ボランティアへと繋げるための体制づくりを今後も模索している。中学生議会などを通じて小中学生の内からまちづくりへの参画を促し、地域住民が子どもたちの希望を実現させるサポートをしていくなど、リーダーとしての自覚をより高めるための工夫が必要である。					

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	23 家庭教育支援事業		担当係	社会教育			
事業内容	<p>「心豊かでたくましい沼田っ子を育てるために」をテーマとし、豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましく生きていく子どもたちの育成を図るため、家庭・学校・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、課題解決できるよう子育て講演会を開催する。令和4年度は國學院大学の田中教授を招聘し「生きる力を育む野外教育」をテーマに実施したが、5年度は未実施。</p>					事業費 (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						40	-
評価	C	<p>P T A連合会の研究大会と家庭教育講座（親学講座含む）との共同開催として実施することにより、参加者が増加して定着しているが、コロナ禍以降、P連との調整ができておらず、同日の開催が望まれる。</p>					
今後の課題・見直しの予定	<p>本事業は、毎年P T A連合会と共催により開催しており、家庭における教育支援の場として有意義なものとなるよう、今後においても連携して継続していくことが多くの参加者を見込むことができる。家庭における親の役割は重要であることから、P T Aからの希望と変化が激しい現代社会に即した講師選定を行う。</p>						
事業名	24 町民交流フェスタ		担当係	社会教育			
事業内容	<p>町民同士が体験しながら交流し親睦を深めながら、教養や趣味の幅を広げ、生きがいや生涯学習活動の活性化を図ることを目的に、図書館ミニミニフェスタと同時開催により事業実施する。 対象は全町民であるが、特に若者や子育て層をメインターゲットとし、令和5年度は町内外から多くの団体が参加し、来場者も約150名に上った。</p>					事業費 (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						189	250
評価	A	<p>社会教育委員が文字通り行政と町民のパイプ役となり、町民のニーズを吸収し、企画・運営を行っていく。多様な展示・体験コーナー、販売コーナー、さらに図書館ミニミニフェスタと合わせて開催。子どもから高齢者まで、多くの希望者が参加・体験ができる充実した内容であった。</p>					
今後の課題・見直しの予定	<p>幅広い年齢層の町民の興味や趣味を把握していく。アフターコロナにあっても感染対策を十分に講じていく。人口減少に伴い参加者の減少が見られ、他の事業との統合・連携などの検討が必要な時期に来ているが、「学び」と「交流」を中心として事業を継続する。</p>						

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	25 生きがい講座	担当係	社会教育	
事業内容	新たな趣味の発見や、自らの趣味の熟成度を高め、生活の潤いや生きがいづくりからサークル設立のきっかけとして、生涯学習の機会を提供する講座を開催する。 「知ってほしい認知症マメ知識」「沖縄文化にふれよう」「親子でクリスマスリースづくり」の全3回開催し、延べ113名参加。		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			60	120
評価	A	「認知症」については町民からの強い働きかけにより実現した。「沖縄文化」については「芸術文化普及促進事業」とも連携。「クリスマスリース」は前2回とメインターゲットを分けて、親子での参加、過去の町民交流フェスタで人気のものづくり系として実施。普段交流する機会の少ない異なる年齢層の町民を結びつけることができた。		
今後の課題・見直しの予定	メインターゲットは比較的時間に余裕がある60歳代、または主婦層となるが、他事業同様に多様化している趣味の中から、興味を持ってもらえる講座を企画し、サークルの設立に繋げていきたい。			
事業名	26 20歳を祝う会	担当係	社会教育	
事業内容	20歳を迎える若者を祝福・激励し、社会人としての責任と自覚を促す式典を開催する。 町内外の20歳を招き、関係者、恩師、保護者と共に式典・交流会を実施する。20歳の門出を祝い、新社会人として「誓い」を式典の中で、一人一人述べてもらうなど、社会人としての自覚と責任を感じられる内容。		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			298	129
評価	A	民法改正により成人年齢が18歳となったが、今後もこれまで同様に20歳を祝う会として継続する。		
今後の課題・見直しの予定	この式典を機に帰省する者が多く、式典終了後はそれぞれ都合もあるため祝賀会は簡素化している。いつまでもふるさと沼田を思ってもらえるよう、化石やあんどんの展示も行っている。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	27 サークル活性化支援事業		担当係	社会教育					
事業内容	生涯学習活動を目的とした、趣味、教養活動を行う設立間もないサークルに対し、活動活性化の知識習得を支援する。 また、「沼田町芸術文化普及促進事業」として芸術文化活動の普及促進のため、町内の団体自らが芸術文化活動を町民に広げる活動をサポートしている。								
						事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度
								197	199
評価	B	令和4年度に「生きがい講座」をキッカケに「楽しい伝筆教室/エアロビックス教室」サークル設立。 ※活動休止団体：秋桜会、七宝焼同好会 沼田町芸術文化普及促進事業は「フィンガー5！玉元正男コンサート」と「ファミリーコンサート」の開催申請あり、感染症対策を講じながら実施した。							
今後の課題・見直しの予定	サークル設立を検討している方の情報やニーズを把握し、今後も支援に努める。								
事業名	28 いきいき大学		担当係	社会教育					
事業内容	高齢者が生きがいを持って生活できるよう、多様な学びの場を提供することにより、充実した健康で明るい生活を過ごすことができるような生涯学習を実践する。								
						事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度
								0	0
評価	A	高齢者が充実した生活を過ごすことができるよう、学びの場を提供することで地域資源、地域貢献活動、防犯意識の向上に繋がる学習を行うことができた。今年のテーマは「交通」として事業を行い、コロナ明けでも日程を調整しながら見学旅行を含めて全5回開催することができた。安平町への日帰り旅行の他、町内の文化財見学会も行い好評だった。延べ108人(R4年度97人)が出席。							
今後の課題・見直しの予定	語り部の育成の観点からも人材育成・発掘を行いたい、人前で話しをすることには大きな壁があるようだった。								

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	29	外国文化にふれる会（英語で話そう）	担当係	社会教育	
事業内容	世界の公用語である英語の抵抗感を少なくし、外国文化への興味・理解を深める。当初の主旨は「英語に親しむ機会」としての側面が大きかったが、外国の言語や文化に広く触れ合う機会とすることとした。ALTのDavid先生を招聘し「アイルランドの朝ごはんを食べてみよう」を1回開催した。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				50	60
評価	A	生徒児童、保護者からも信頼の厚いALTのDavid先生に協力をしていただき、先生の母国であるアイルランドを学ぶ会を社会福祉協議会の「みんなの食堂」と連携して開催。大変好評であった。(参加者30名) 次年度は「生きがい講座」の一環として、David先生に協力いただき、近隣のALTなどにもお越しいただけるような取り組みとして全町民向けの形態としたい。			
今後の課題・見直しの予定	英語のみならず他の外国語や文化、姉妹都市のあるカナダにも親しめる機会とするなど、気軽に参加できるような内容・PRの仕方を検討し継続し、生きがい講座の一環事業として実施していく。				
事業名	30	シニアリーダー研修会	担当係	社会教育	
事業内容	次世代を担う北空知に住む中・高校生が一堂に会し交流を図るとともに、地域において青少年の社会参加活動を促進する。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				15	52
評価	A	北空知1市5町の広域事業として実施しており、他市町の同年代との交流は単独での実施では得ることのできない教育効果がある事業であり、次世代の若い力を育成する上でも継続して参加していく必要がある。12月のシニアリーダー研修会は中学生5名が参加。3月のステップアップ研修とリーダー養成講習8名が参加した。			
今後の課題・見直しの予定	毎年、北空知社会教育担当者において内容の検討を行っているが、参加者が減少しており、また事業趣旨に沿った内容の充実が課題となっている。本町の中学生ボランティアともリンクしている事業であることから、今後も継続的に実施していく。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	31 自然体験事業	担当係	社会教育	
事業内容	<p>ほろしんの森を中心とした沼田町の自然に触れ、まちの自然の豊かさを知るとともに、子どもたちが自然体験を通じて非認知能力など生きる力を育む。基本的な生活習慣を身につけたり、異学年との交流を深めながら、心身ともに健全な育成を促す。</p> <p>教育委員会主催で行っていた自然体験キャンプ事業を令和5年度より本格的に始動したそらち自然学校に業務委託することになった。委託により、より専門的、実践的な学びが可能になった。</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
評価	A	<p>・デイキャンプ 8/3 (26名) 1/9 (10名) ・宿泊キャンプ 8/4-6 (11名) 1/13-15 (8名)</p> <p>・環境学習プログラム 5月~3月 (延35名)</p> <p>動物とのふれあい、薪割り、野外炊飯、川の生き物観察、かまくらづくり、森の探索、雪中レクリエーションなどを行った。いずれも幌新の森での開催となり、自然学習等を通して普段できない体験ができた。日帰りデイキャンプのニーズも高く、異学年交流を深めながら多くの児童に参加いただいき、ふるさと学として沼田町の自然に直接触れる機会である。</p>	106	455
今後の課題・見直しの予定	<p>自然学校への委託事業とすることで、アウトドアに対する専門的知見を基にした指導が受けられる。夏季休業中、冬季休業中ともに沼田の自然を体験できる貴重な機会である。小学校低学年からのキャンプ事業の参加者が将来中学生、高校生となった際にリーダーとなることを期待している。今後も、町内幌新地区の自然学校と連携し「ふるさと学」に位置付ける。</p>			
事業名	32 自然体験授業事業	担当係	社会教育	
事業内容	<p>学校授業の中でほろしんの森を中心とした沼田町の自然に触れ、まちの自然の豊かさを知るとともに、子どもたちが自然体験を通じて非認知能力など生きる力を育む。基本的な生活習慣を身につけたり、同級生との交流を深めながら、心身ともに健全な育成を促す。</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
評価	A	<p>町内に居住していても、幌新地区に行ったことがない児童や自然体験の経験がない児童が少なからず存在している現状から、自然体験事業との二本立てでより多くの児童に自然と触れ合う機会を提供する。この自然体験授業事業を入り口として、自然体験事業への参加につなげていこうという意図もある。</p> <p>自然体験事業と同様にそらち自然学校への委託によって行う。内容の差異は小学校の授業カリキュラムの一環として行うことで、より多くの参加者を確保する。令和5年度はほたる学級と小学3~6年生が参加した。</p>	106	455
今後の課題・見直しの予定	<p>非認知能力の習得にはある程度長期間の体験の蓄積が必要であることから、継続が妥当な事業と考える。今事業での実績を積み重ね、カリキュラム上、郷土教育上、この事業が不可欠であるということを教員や保護者に浸透させる。</p>			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	33 沼田っ子の夢応援事業（合宿通学）		担当係	社会教育		
事業内容	<p>ふるさとを知り、好きになることでふるさとに誇りを持つことができるよう、また、自立と共生を目指しながら、社会をたくましく生き抜く子どもに成長できるよう、ふるさと沼田を愛する心と大きく社会に羽ばたく第一歩となる生き方を応援する。</p> <p>小学5年生を対象とし、宿泊交流センターで共同生活を送りながら通学する従来の合宿通学に、沼田学園で実践する「沼田学」にリンクさせた「ふるさと学習」の要素を加えて実施。（2023. 10. 18～10. 21の3泊4日）</p>				事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
評価	A	<p>これまで課題であったスポーツ少年団活動との両立も図りながら、また対象を小学5年生に限定することで、多くの参加をいただき、参加者、保護者ともに満足度が高い事業であった。地域の方の講話による沼田学と自分や仲間の良いところ探しなどのワークショップを行い自己肯定感を高める取り組みとなった。</p>				
今後の課題・見直しの予定	<p>子どもたちの成長過程における共同生活を通しての役割や生活能力の獲得を目指す本事業は重要な事業であり、学校行事に準じた活動として認知してもらおうと同時に、各団体への早期周知・意義の説明を通じて、定着化させていく。</p> <p>時間的制約があり、共同で食事をつくることはできないが、最終日のBBQを含めて多少の活動は必要である。</p>					
事業名	34 芸術文化鑑賞事業		担当係	社会教育		
事業内容	<p>著名な講師による講演や芸術鑑賞等を含む本物の舞台芸術を身近に触れる機会を提供し、町民の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的に、隔年で実施する。（スコーレ基金を活用）</p> <p>平成29年度より隔年実施となり、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、令和4年度に繰越となった。令和5年度は元環境大臣であり幼少期を沼田町で過ごした原田よしあき氏の講演を行った。</p>				事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
評価	B	<p>町内高齢者の割合が上昇するにつれて、町外へ出る交通手段がない方も増えていることが考えられるため、町内で芸術に触れる機会の重要性は増している。またそれ以外の年代の町民にとっても、気軽に講演等を鑑賞できることは、芸術文化への興味を喚起するのに有効な手段となっている。</p>				
今後の課題・見直しの予定	<p>予算内で町民全体にアピールできるような講演者や団体を探すことが困難になってきている。</p> <p>単にメディアに出ているか否かの選定基準ではなく、内容に対して町民の持っている問題意識が反映されているかを考慮していく。</p>					

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	35 文化財の保存管理	担当係	社会教育	
事業内容	町指定文化財である十一面薬師観音菩薩像（永徳寺（恵比島第1）保存）及び越中獅子舞獅子頭と獅子舞（無形民俗文化財）の適切な保存を行う。 『文化財収蔵センター』を適切に管理し、収蔵設備を整備しつつ、文化財（化石・郷土資料）の適切な管理を行う。また、見学を受け入れるために必要な準備を行う		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			-	-
評価	B	町指定文化財は、適切に保存管理されているが、文化財指定者への援助を必要とする部分がある。 文化財収蔵センターは、施設の整備を行い、旧ふるさと資料館に収蔵されている資料の移設を行った。		
今後の課題・見直しの予定	文化財守り隊と連携し、文化財パトロールを行い、保存状態の確認をスケジュール化していく。越中獅子舞は後継者難から活動が停滞しており、今後何らかの援助が必要になる。 文化財収蔵センターに移設した資料を適切に管理するとともに、希望者に見学を可能にできるよう整備を行う必要がある。			
事業名	36 クラウス15号蒸気機関車	担当係	社会教育	
事業内容	町指定文化財及びJR北海道指定準鉄道記念物であるクラウス15号蒸気機関車の保存のため、日常管理と適切な点検整備を行う。 また、令和元年度にクラウス15号が日本遺産「炭鉄港」構成文化財に指定されており、産業創出課と連携を図りながら、町内外へPRを行っている。		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			532	553
評価	B	除雪作業を含め日常管理は株式会社第一寶亭留 ほろしん温泉ほたる館へ委託し、適切に管理されている。		
今後の課題・見直しの予定	貨車牽引機(アント)が古くなり動かなくなる心配も次第に大きくなってきていることから、アントの修繕は早急に対応することとし、アントの状況により展示方法について検討が必要になる。 ※アントは道内には2台しか現存していません、修理部品も少なくなっている。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	37 本願寺駅通維持管理		担当係	社会教育	
事業内容	道指定文化財である本願寺駅通を、貴重な文化財として永く後世に残すため適切な維持保存を行う。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				234	205
評価	B	除雪、防火設備点検等、適切に管理している。			
今後の課題・見直しの予定	建物だけでなく内部の展示についても、文化財収蔵センターの収蔵物を展示することにより、明治の様子再現を強化・見直していく。				
事業名	38 町民芸術祭		担当係	社会教育	
事業内容	<p>町内の各文化団体、サークルにおける活動の成果を発表する機会を設け、広く町民に鑑賞してもらうことで芸術文化の発展を図ることを目的に開催している。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、作品展示をゆめっくるで2クールに分けていたが、今年度は希望に応じてゆめっくと町民会館に展示。芸能発表は団体等の意向を尊重し、町民会館にて芸能発表を実施、併せて同日作品展示も行った。</p> <p>(作品展示会) ゆめっくる：令和5年10月27日(金)～11月3日(金) 町民会館：令和5年11月2日(木)～3日(木)</p> <p>(芸能発表) ゆめっくる：令和5年11月3日(金)</p>			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				56	32
評価	A	コロナ禍以降も文化・サークル活動の奨励と発表・交流の場をつくり、町民の参加による芸術祭となるように関係団体、サークル等と協調を図ることができた。芸能発表は町民から要望が大きかった町民会館での開催に戻し、多くの観覧者が来場した。			
今後の課題・見直しの予定	町民会館で開催できたことに感謝する声が多かった。文化団体・サークルの活動者が減少傾向にあるが、来場者は増加して、社会的意義も大きい事業であるため、継続が必要である。 今後更に参加団体が減少すると、従来の形態での事業継続は困難になっていくことが予想される。各団体への会員募集や活動周知に関する支援はもちろんのこと、他事業との統合可能性についても検討していく。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	39 文化連盟活動助成	担当係	社会教育	
事業内容	町の芸術文化の向上と発展のため、文化団体への活動を支援する。沼田町文化連盟の運営に補助金を交付。		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			183	183
評価	A	同連盟は構成団体と連絡提携し、それぞれが独自事業を開催するよう働きかけるとともに、町民芸術祭においては中心となって運営に携わる等、町の芸術文化向上と発展に大きく貢献し、効果を上げている。		
今後の課題・見直しの予定	会員が徐々に高齢化しており、活動の活性化が図られるよう、新規団体・サークルの設立などの側面的な支援を行っていく。			
事業名	40 めまたっ子サポーター事業	担当係	社会教育	
事業内容	家庭・学校・地域が連携した体制による自主的な取組として、地域における子どもの安全を見守るパトロール活動の一層の充実を図るため、めまたっ子サポーター（通学路等パトロールボランティア）の養成及び活動の推進を図る。		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			63	-
評価	B	通年で募集を行い、会員が無理のない範囲で日常的な活動を行っている。季節毎交通安全期間中の通学路パトロールに協力依頼している。		
今後の課題・見直しの予定	平成31年4月に沼田学園学校運営協議会を発足させ、地域に開かれた学校づくりを実現するために家庭・地域・学校が連携し各種事業を展開しており、標記事業は子どもたちを見守る活動として有意義な事業であることからサポーター登録を呼びかけて事業を継続する。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	41 社会教育施設の管理運営（ゆめっくる、活性化センター）		担当係	社会教育		
事業内容	町民一人ひとりの生涯学習教育活動を支援し、人間性豊かな地域社会の形成に寄与するための場を提供する。地域住民の主体的な発意と相互協力のもとに、自らの生活文化の向上及び地域の安定的な発展と活性化を図る。				事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
					19,174	19,243
評価	B	生涯学習総合センターは生涯学習活動の拠点施設として、サークルを中心とした町民の芸術文化活動推進と、生涯学習情報等の収集・発信を行っている。図書館は本の貸出業務だけでなく、テーマ展示を通じた情報発信に努めている。活性化センターは地域活動団体の会議や研修、教養・文化サークル、健康に関する活動、また調理実習等の場として活発に活用されている。また、生涯学習総合センター、各活性化センターは非常用発電設備を備えており災害時の避難所としての機能も有している。				
今後の課題・見直しの予定	施設設備の経年劣化による故障等も見受けられる為、適宜、修繕等を実施し施設維持に努めたい。また、生涯学習総合センターについては建設から20年以上経過しているため、大規模改修について検討を進めていく必要がある。設備の不備や設置要望について、利用者の希望に応えられるよう、管理人との連携を密にし、利用環境を改善できるよう努力したい。					
事業名	42 町民体育祭		担当係	社会体育		
事業内容	記念すべき「第50回町民体育祭」は、令和5年7月2日に開催した。「見て・参加して・楽しめる」町民体育祭とするため、長く協議してきた内容を実現した前回大会からさらに改良を加え、関係団体からの協力をいただき、概ね満足してもらえる内容であった。スポーツ振興はもとより、町民（特に同じ地区に住む）の交流において非常に大きな意味を持っている。組として不参加の組や合同参加の組はあるものの、一応全行政区が参加する事業である。 参加人数：約400人				事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
					699	723
評価	A	スポーツ推進委員や行政区体育委員で議論を重ねた内容の大会をとなり、多くの参加を得られた。配点や年齢、人数制限などで改善を望む声も一部あったが、概ね満足してもらえる内容であった。				
今後の課題・見直しの予定	どの事業にも言えることだが、参加者の減少や高齢化により、組ごとの不公平感が出てきている場面が見受けられる。単にどの組が優勝するかという側面ではなく、地域住民が同じ競技に参加し、応援するという側面に本来の意義があるように思われる。近年は組の現状に合わせて、どの組も優勝できるようにする工夫（参加要件の緩和、得点の調整）や、組別でない個人・グループ参加競技を増やし、全町民が楽しめる持続可能な形態を目指している。					

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	43 おはようラジオ体操	担当係	社会体育			
事業内容	役場前駐車場を会場に早朝の新鮮な空気の中でラジオ体操を行い、1日の活動の始まりに備えるとともに、健康づくりやその意識を高める。					
					事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
			3	3		
評価	A	5月1日から10月1日までの雨天を除く135日間延べ5,356名が参加され実施した。毎朝一度、外の空気に触れることが習慣化され、健康づくりや愛好者など仲間づくりに繋がっている。				
今後の課題・見直しの予定	規則正しい生活習慣の構築と、運動不足解消に大きな意義がある。体操指導者の後継者探しが急がれる。					
事業名	44 明日萌・ほたるの里ウォーキング	担当係	社会体育			
事業内容	自然に親しみながら、それぞれの体力に合ったコースを歩くことで、参加者のふれあいと健康づくりを促進し、交通安全の啓蒙も合わせて行うことを目的に、交通安全協会やライオンズクラブの協力もいただきながら実施。 例年、連携して開催しているほろしん温泉の「紅葉を見る会」は見送られたためウォーキング単独開催。 ・日程 令和5年10月1日(日) ・コース 10.0km、6.0km、3.0km ・参加人数 72名(うち町外6名)					
					事業費 (単位:千円)	
					令和4年度	令和5年度
			137	115		
評価	B	町内の秋の風景を楽しみながら、複数のコースをウォーキングする。順位やタイムを競うものではなく、健康増進を主たる目標としている。町内外からウォーキング愛好者、健康増進のため参加される方も見受けられ、スポーツ振興にも繋げることができた。				
今後の課題・見直しの予定	紅葉祭りの中止に伴う参加者の減少を考えると、歩くことや景色を楽しむこと以上の意義づけが必要になっていると思われる。紅葉祭りと同様に機能する別事業との同日開催を模索する必要がある。					

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	45 町民パークゴルフ場運営	担当係	社会体育		
事業内容	町民の健康づくりや親睦・交流の場や、競技としてパークゴルフの技術向上を図る場を提供する。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				1,893	1,824
評価	B	パークゴルフ協会の要望を聞き取り、コース管理担当である建設課と連携し、良質で快適なパークゴルフ場を提供することができたが、利用者が減っている。			
今後の課題・見直しの予定	令和5年度のパークゴルフ場の利用者は前年度より減少しており、年々減少傾向にあるが、パークゴルフ競技者の減少は当町のみ状況ではないと思われる。 利用促進を図るため、コース管理、料金の設定、大会の実施方法等に関して、パークゴルフ協会等の利用者からの意見を参考に検討し、利用者増を図る。 ナイター営業については利用者が減少しているため、実施方法を検討するが、現状は今の体制で対応できているため、継続していきたい。				
事業名	46 各種パークゴルフ大会 (NHKすずらん記念、町長杯、教育長杯)	担当係	社会体育		
事業内容	3大会ともに、町内及び空知管内のパークゴルフ協会等にも広く周知し、多くの愛好者が参加され親睦と競技交流を図っている。NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」のロケ地を記念してペア大会としての独自性を持ち毎年開催しており、全道から多くのパークゴルフ愛好者が参加され競技交流を深めている。 ・(教育長杯) 令和5年6月8日(木) 54名参加 ・(町長杯) 令和5年7月6日(木) 70名参加 ・(NHKすずらん記念) 令和5年9月7日(木) 112名参加			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				289	276
評価	A	3大会ともに町PG協会の協力を頂き、選手組合わせや大会運営などスムーズに行うことができています。			
今後の課題・見直しの予定	愛好者の減少により年々参加者が減少傾向にあるが、限られた予算で内容の充実を図りながら、今後も広くPRしていくことが必要である。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	47 体育協会活動助成		担当係	社会体育			
事業内容	本町のスポーツ振興の核となる団体として、その活動費に対して補助金を交付し活動支援をする。					事業費 (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						567	567
評価	A	当該団体は、様々な体育事業を通じ、町民のスポーツの振興及び体力の向上に寄与している。(加盟団体数11団体)					
今後の課題・見直しの予定	沼田町のスポーツ振興の核となる団体であるが、活動を休止している団体が見受けられるので、活動が活性化するよう支援をしていく。部活動の地域移行の案もあるため、各団体の活動状況を押さえる必要がある。						
事業名	48 図書館運営		担当係	図書館			
事業内容	<p>図書館の蔵書等の資料を活用し、町民が本に親しみ、知識や情報を収集する場として本や情報の提供を行う。また、図書館の蔵書等を活用した事業を行い、小さな時から本に触れる機会を積極的につくり、各家庭で読書に親しんでもらうため保健部門とも連携した事業を行う。</p> <p>主な事業：絵本作家の読み聞かせ、こどもおはなし会、こども工作教室、こども園への読み聞かせ、テーマ展示、絵本の世界展、ハローブック、おとなの工作教室、古本市、こども人形劇</p>					事業費 (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						5,317	5,854
評価	A	<p>コロナ禍が明けたことで、開催方法を変更しながら行っていた事業は通常通りの形で開催することができた。ただ、コロナ禍中に開催方法を変更したおはなし会や工作教室など一部の事業は利用者からの意見等もあり、コロナ禍の時と変わらない形で開催することとした。小学校高学年・中学生を対象のマンガアンケートで1位になった新しいマンガを購入する事業では、子どもから大人までマンガを楽しんでもらえ非常に好評だった。</p>					
今後の課題・見直しの予定	<p>町民の生活様式にあわせた形で事業を開催するなど、事業に参加しやすいよう柔軟に対応し図書館に親しんでもらえるようすすめていく。小中学生の利用のきっかけになるよう、興味関心を持てるような蔵書を増やした事業を行っていく。</p> <p>また、ボランティアとともに図書館の読み聞かせ事業などをすすめていく。</p>						

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	49 図書館フェスティバル	担当係	図書館
事業内容	町民の本への興味関心を高めるため、読書の楽しさや図書館の機能を幅広く周知しながら事業を行う。また、体験などを通して本を手に取りやすくなるような事業を行い、図書館に来るきっかけづくりになるよう事業を進めていく。	事業費 (単位:千円)	
		令和4年度	令和5年度
		0	0
評価	A	町民交流フェスタと同日開催した。こども園・小学校に協力していただいた本のポップをつくろう・デザインコンクールの作品展示のほか、フェスタ当日だけ配布する特別工作・図書館クイズ（かくれている妖怪をさがせ）、クリスマスツリーをつくろうなどを行い、子どもから大人までたくさんの方に図書館に立ち寄ってもらうことができた。また、こども人形劇も同日開催し親子を中心に多くの方に観劇してもらうことができた。	
今後の課題・見直しの予定	事業を通じて、図書館に来るきっかけづくり・本に触れるような内容にしていくことが必要である。前年度同様古本市は別日に設定したが、コロナも明けたからか前年度よりも参加人数が増加した。また図書館で行うクイズは12月に来町した絵本作家・広瀬克也さんから提供していただいた『かくれている妖怪をさがせ』のキットを使用して、妖怪をすべて見つけたらお菓子を渡す形にし、いつもはクイズに参加しにくい幼児も楽しく参加していた。このように、図書館に親しみを持てるような、また来るきっかけになるようなイベントを今後も開催していきたい。 次年度以降もボランティアと内容を検討し、図書館にあまり来ることがない層にも興味を持ってもらえるよう事業をすすめていく。		
事業名	50 B&G海洋センター運営管理	担当係	体育振興
事業内容	海洋センター（プール）の運営活用を通じて町民の心身の健全な発達及び体育・スポーツの普及振興を図る。	事業費 (単位:千円)	
		令和4年度	令和5年度
		10,050	32,593
評価	B	令和4年度においてポンプの故障が発生したが、4年度中に修繕したことから5年度については通常どおりオープンすることができ、利用者も2,508人と前々年度(2,297人)を上回る人数となった。 シーズン終了後に大規模改修として、濾過機、温水ヒーター、幼児用プールのグレーチングの修繕を行い、利用環境の改善を図った。	
今後の課題・見直しの予定	設備の管理に関して、耐用年数等を考慮し、早めの設備更新を検討するようにする。 無料で利用できる利点をもっとアピールし、すべての世代で活用してもらえるような事業を展開したい。 設備の改修により、シーズン序盤の低い水温や、後半の水の汚れ等の水質課題に関しては、適切な水質管理が可能となったと考えるが、管理業者と連携し、効率的な管理を行うこととしたい。		

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	51 水泳教室	担当係	体育振興	
事業内容	<p>海洋スポーツ普及の一環として、水泳を通じて体力・健康づくり、水泳技術の向上を図ることを目的に、4歳児から小学6年生までを対象とした「子ども水泳教室」の事業運営を委託し実施した。</p> <p>○メニュー：（直営）参加料 無料 「アクアリズム」「水なれ教室」「特別レッスン」 （委託）参加料 2,000円 「わんぱく水泳教室」「チャレンジ水泳教室」</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			429	429
評価	A	幼いうちから水泳に親しみ、楽しさを知ってもらうことで、体力・健康づくり並びに水泳技術の向上に寄与している。子どもの上達度に応じて教室を分けて実施しており、20日間に渡って延225人に対し指導を行った。		
今後の課題・見直しの予定	プール利用者が減少することなく、事業実施のタイミングを調整し、より多くの方々に水泳に親しんでいただくことで、体力・健康づくりに繋がられるように支援したい。			
事業名	52 スキー場管理運営	担当係	体育振興	
事業内容	<p>スキー場を継続的に運営することで、子どもたちを中心に沼田の特色である雪に親しみ、体力増進を図る場を提供する。</p> <p>リフト・ロッジを更新したことに伴い、安全性の向上が図られたが、索道職員との連携により、適切な施設管理に努め、一層の集客人数（交流人口）の増加を図る。</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和4年度	令和5年度
			453,210	19,266
評価	A	設備更新後、2シーズン運営したが、リフト輸送人員(98,024人 前年比△3,948人)、収入(4,174千円 前年比△33千円)ともに前年からやや減少するも同程度となった。 臨時駐車場の整備やロッジの利用環境の向上に努め、圧雪車の整備や施設内備品の充実等従業員が安心して働ける環境作りにも努めた。		
今後の課題・見直しの予定	町民、特に子どもたちの冬季に於ける体力増進の場としてだけでなく、スキー場のない近隣自治体に対して冬季スポーツの場を安価で提供できる意義は依然として大きいと考える。 更新された設備により、幼児や初心者が安心して利用できるスキー場として、また親子で利用しやすいスキー場として運営するとともに、利用者の少ないナイターや平日の日中の運営方法について検討していく。また、長期間の運営ができるよう、設備のメンテナンスや操作方法に関して索道職員と連携して運営する。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	53 化石研究事業の推進	担当係	化石館	
事業内容	新たな化石を見つけるための調査を継続的に行う。同時に、外部の研究者と協力しながらこれまで収集した既存化石のクリーニングを進め、研究対象となる化石を提供する。研究成果は沼田町にフィードバックしてもらい、企画展示や常設展に反映していく。	事業費 (単位:千円)		
		令和4年度	令和5年度	
評価	B	レプリカスタッフは貸借物のレプリカ製作を行っており、町の化石資料の充実に貢献した。しかし既存の化石のクリーニングの進捗は遅れている。		
今後の課題・見直しの予定	レプリカ資料の制作作業を進める。 新しい化石や化石の発掘場所の発見を目指して調査を進める。 研究に関する情報を随時館報、町の広報、マスコミ、インターネットなどで発信していく。			
事業名	54 化石体験館管理運営	担当係	化石館	
事業内容	化石を含む自然史資料を通して、郷土の成り立ちを学ぶ機会を提供するとともに、沼田町が貴重な化石産地であることを広く周知する。幌新地区での立地を生かして、観光振興にも寄与する。	事業費 (単位:千円)		
		令和4年度	令和5年度	
		6,151	4,539	
評価	A	ミニ発掘は持ち帰りでの対応とし、展示の充実などミニ発掘に頼らない運営に力を入れた。 入館者数4,077人だった。		
今後の課題・見直しの予定	インターネットやSNS、新聞への情報発信を精力的に行い、新たな入館者の創出を図る。 リピート客獲得のために、質の高い体験メニューや展示方法の検討を行う。			

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	55 レプリカ工房	担当係	化石館		
事業内容	沼田町から発見された化石のクリーニング、レプリカ作製、保存、研究を進め、論文発表・特別展示などを通じて町内外に発信するための素材を提供する。 また貸出用である2体目のヌマタネズミイルカのレプリカが完成した。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				10,770	17,876
評価	A	常に情報共有に努め化石クリーニング技術の向上を図ってきた。 外部の研究協力者とも連絡を密に取り合い、精度の高い作業を心がけた。			
今後の課題・見直しの予定	貸出用の二体目のヌマタネズミイルカのレプリカを作製した。今後より多くの貸し出し等を行い宣伝に努める。 また、既存化石のクリーニング作業を進め、新たな化石研究への協力を継続する。				
事業名	56 宿泊交流センター「夢未来」管理運営	担当係	施設管理		
事業内容	スポーツ又は文化活動等に関する合宿等を受入れ、本町のスポーツ及び文化の振興と地域の活性化を図るとともに、研修・体験学習活動の場を提供する。利用料は道立青年の家の利用料も参考としながら利用しやすいよう小・中学生300円、高校大学生500円、一般1,000円としている。また、厨房を使用し自炊することができる体制としている。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				843	1,061
評価	B	利用可能人数の制限を終了したことから、前年を大きく上回る利用者人数となった。			
今後の課題・見直しの予定	施設において経年による設備の故障や備品の劣化等が見受けられる為、適宜、修繕や購入等により施設維持に努めたい。 利用者の要望に応えられるよう、担当職員と連携し運営を行う。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	57 町民球場運営		担当係	施設管理	
事業内容	定期利用団体による利用の調整、町外からの利用を促進し、球場の有効活用に努める。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				—	—
評価	B	利用者の声を聞き、建設課と連携しながら、より良い環境の中で利用いただけるよう努力した。令和5年度の利用者数は大会数の減少等の影響により減少した。(1,220人 前年比-1,319人)			
今後の課題・見直しの予定	大会の減少により、利用者が減少している。今後も球場利用のPRや、利用団体の要望を取り入れて改善を行うことで利用者の増加を目指す。				
事業名	58 社会体育施設の管理運営		担当係	施設管理	
事業内容	体育施設の利便性向上に努めながら、子どもたちの体力向上、及び地域住民の健康増進を図り、楽しんでスポーツに親しむことができる場を提供する。			事業費 (単位:千円)	
				令和4年度	令和5年度
				16,599	14,789
評価	B	町民体育館は各種スポーツ大会の他、夜間も定期利用団体に利用されている。今年度の利用者は延べ6,172人(前年比△398人)と、前年より若干減少したが同程度の利用者数となった。設備の老朽化に伴う修繕が発生しているが、早急な対応に心掛けた。			
今後の課題・見直しの予定	町民体育館を中心に屋内スポーツを推進しているが、町民の体力を増進させる観点からも利用促進に努める必要がある。町民体育館は老朽化が進んでおり計画的な修繕など適切な管理や、新たな施設の建設等の検討も必要。				

令和5年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	59 町民会館の管理運営		担当係	施設管理			
事業内容	町民の福利の増進と文化の向上を図ることができ、また、多目的に多くの町民が集える場として町民会館を提供する。					事業費 (単位:千円)	
						令和4年度	令和5年度
						7,688	7,869
評価	B	町民芸術祭の展示・芸能発表を中心に文化の向上や町民福利の場等として、多目的に活用し、令和5年度の利用は、5,348名(前年比+766名)と増加した。 管理については社会福祉協議会へ委託を行い、適正に行われている。					
今後の課題・見直しの予定	施設の老朽化が目立つが、計画的な改修を進めてきた。今後も効率的な管理運営を行う必要がある。 施設の老朽化により、今後、多額な設備修繕も予想されるため、運営方法を大きく見直す必要があることも考えられる。						

総合教育計画における チェックポイントの状況

令和5年度分 総合教育計画におけるチェックポイントの状況

沼田町教育委員会

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成									
	展開方策	①生きる力を支える「確かな学力」の習得											
(1) チェックポイント		単位	小学校					中学校					
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
①全国学力・学習状況調査、標準学力検査の基礎的知識において全国平均値を上回った児童生徒の割合		%	56.9		/	/	/	77.7		/	/	/	
②各種学力調査による「勉強は好きだ」と思う児童生徒の割合		%	77.8	66.7	92.3	68.2		58.2	47.3	66.7	66.7		
③教員の交流授業、学習・生活習慣づくり、園・学校行事、幼児児童生徒活動等における幼・小・中が連携した活動数		回	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
④学習サポート事業参加児童生徒の割合（長期休業分）		%	22.9	28.2	28.2	26.2		6.3	8.3	9.14	6.9		
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成									
	展開方策	②子どもたちの「豊かな心」の育成											
(2) チェックポイント		単位	小学校					中学校					
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	
①「人の気持ちが分かる、人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合		%	100	100	100	93.6		94	100	100	89.4		
②「地域の行事に参加している」児童生徒の割合		%	100	87.5	92.3	63.7		100	89.4	80	64.7		
③「1日に30分以上読書する」児童生徒の割合		%	11.1	33.3	38.4	27.3		61.2	36.8	42.3	29.6		
④学校図書の児童生徒1人あたり貸し出し冊数		冊	9.3	13.7	12.6	8.4		10.0	8.7	1.34	1.45		

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	③子どもたちの「健やかな体」の育成												
(3)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合		%	96.9	100.0	100.0	90.0		93.5	84.2	93.3	88.3			
②フッ化物洗口している幼児児童生徒の割合		%	92.5											
③学校給食における地場産野菜の導入率（町内生産の加工品を含めた）		%												
④「ほとんど毎日（週3日以上）運動する」児童生徒の割合		%	100.0	100.0	100.0	100.0								
⑤新体力テストにおいて全国平均値に到達している児童生徒の割合		%	47.7			74.0		37.3	41.6	48.8	85.0			
⑥部活動やスポーツ少年団・スポーツクラブへの加入率		%	59.1	54.3	55.3	33.3		95.5	82.4	87.5	80.0			
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	④地域に貢献する人づくりの促進												
(4)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合		%	88.9	66.7	92.3	89.9		68.0	68.4	80.0	70.6			
②進学率や就職率		%						100.0	100.0	100.0	100.0			
③インターンシップ・体験活動等への参加延べ人数		人						28	16	17	18			
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	⑤個人のニーズに対応した教育の充実												
(5)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて、支援が必要な子どもに対して「個別支援計画」を作成している割合		%	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0			

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり					個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成									
	展開方策	⑥幼児教育の充実															
(6)チェックポイント		単位	こども園					小学校					中学校				
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5
①こども園の就園率		%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
②小学校とこども園、小学校と中学校の交流活動の回数		回	/	/	/	/	/	82	82	82	82		14	14	14	14	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり					個別目標	②地域社会が一体となり、共に育む教育の実践									
	展開方策	⑦学校・家庭・地域で子どもたちを育む取り組みの支援															
(7)チェックポイント		単位	小学校					中学校									
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5					
①学校支援活動の活用日数（ボランティア含む）		日	8	8	8	8		6	4	12	12						
②社会教育活動等でボランティアや指導者として活動した述べ人数		人	47	47	47	47		6	6	24	24						
③地域の指導者の登録者数		単位	R元	R2	R3	R4	R5										
		人	2	2	2	2											
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり					個別目標	②地域社会が一体となり、共に育む教育の実践									
	展開方策	⑧家庭における教育の支援															
(8)チェックポイント		単位	小学校					中学校									
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5					
①1日あたりの家庭学習時間が（学年×10分）以上になっている児童生徒の割合		%	74.4	89.4	79.5	74.0		68.5	56.7	70.3	57.0						
②「夕食をいっしょに食べ、学校での出来事について話をする」児童生徒の割合		%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/					

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑨子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進												
(9)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①ぬまたっ子サポーターの巡視活動延べ日数		日	50	50	50	50		50	50	50	50			
②スクールカウンセラーの相談件数		件	32	43	38	11		24	18	48	48			
③いじめ調査によるいじめ把握数と解決数の割合		%	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0			
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑩社会の変化に対応した学校づくりの推進												
(10)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①教職員1人あたりの校外研修受講回数及び研究会参加回数		回	1	0	0	1		1	1	1	1			
②学校開放事業の回数(小…スポ少、学童の調理実習含む)		回	200	180	180	180		0	0	0	0			
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑪高度情報化社会に対応した教育・学習活動の推進												
(11)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①情報教育の実施回数		回	18	18	18	18		16	16	16	16			
②コンピュータを使って指導できる教員の割合		%	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0			
③「携帯電話の使い方について、所持している子のうち約束したことを守っている」児童生徒の割合		%			76.9	69.0				94.9	91.0			

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	②質の高い教育環境の整備												
(12)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①文部科学省の調査「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」のポイント上昇率 (生徒児童用端末PC数)		台	35	92	134	134		38	95	98	98			
②教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる時間の割合		%	0	0	0	0		0	0	0	0			
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現										
	展開方策	③生涯を通して学習し、その成果を生かせる環境づくりの推進												
(13)チェックポイント		単位	R元	R2	R3	R4	R5							
①図書館の利用人数と貸し出し冊数(町民一人あたりの貸し出し冊数)		冊	6.3	6.2	6.9	6.9	6.9							
②社会教育事業等の参加人数		人	3,943	670	889	825	869							
③教育委員会が開催する講座等の参加延べ人数		人	137	0	5	65	120							
④社会教育施設の総利用者数		人	11,218	7,793	9,125	13,021	13,044							
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現										
	展開方策	④青少年が健やかに育つ地域づくりの推進												
(14)チェックポイント		単位	小学校					中学校						
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5		
①自然体験キャンプやシニアリーダー研修会などへの参加延べ人数		人	80	20	24	16		39	0	6	7	5		
		単位	R元	R2	R3	R4	R5							
②青年世代団体の活動数(類似含んだ団体数)		団体	1	1	1	1	1							

総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑮高齢者の生きがいつくりの推進						
(15)チェックポイント			単位	R元	R2	R3	R4	R5
①いきいき大学参加延べ人数			人	121	31	85	97	108
②異世代交流事業への参加延べ人数 ()			人	115	34	0	0	0
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑯生涯にわたり、スポーツに親しむことのできる環境づくりの推進						
(16)チェックポイント			単位	R元	R2	R3	R4	R5
①スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加延べ人数			人	9,174	5,029	6,960	6,770	6,289
②総合型地域スポーツクラブの会員数と利用者数			人	/	/	/	/	/
③スポーツ施設の利用者延べ人数			人	63,157	67,462	79,435	117,585	#####
④人材バンクに登録されているスポーツ指導者数			人	2	2	2	2	2
59.3	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑰芸術文化や地域の歴史に親しむ機会の充実						
(17)チェックポイント			単位	R元	R2	R3	R4	R5
①ゆめつくる定期利用団体数			団体	19	20	19	17	14
②各種団体の発表・活動の場への参加延べ人数			人	392	165	344	338	445
③鑑賞事業の入場者数			人	80	0	0	56	200
④文化施設の利用者延べ人数			人	3,034	1,274	3,156	4,582	5,348
⑤地域教育素材を取り入れた事業への参加延べ人数			人	9,936	4,211	3,083	5,741	4,077

総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現								
	展開方策	⑱広い視野を持ち、地域を愛する心の育成										
(18)チェックポイント		単位	小学校					中学校				
			R元	R2	R3	R4	R5	R元	R2	R3	R4	R5
①姉妹都市交流事業への参加申し込み数		人	/	/	/	/	/	8	/	6	6	
②小中学校の英語教育の交流授業回数		回	0	0	0	0		0	0	0	0	